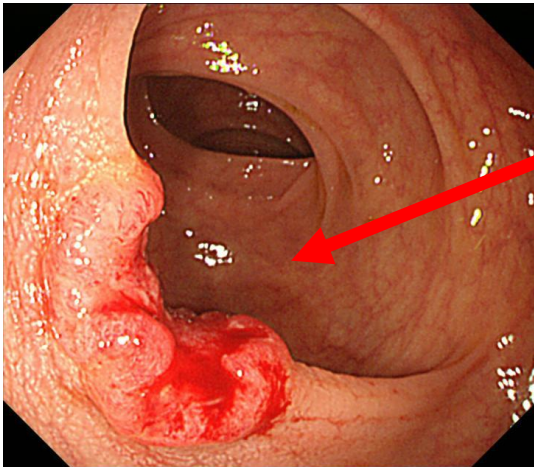


# 大腸がん検診

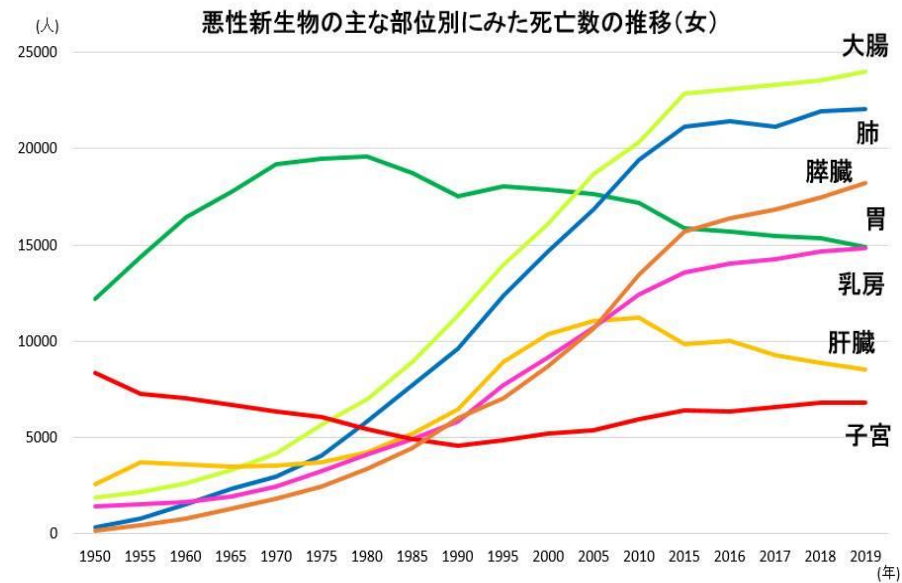
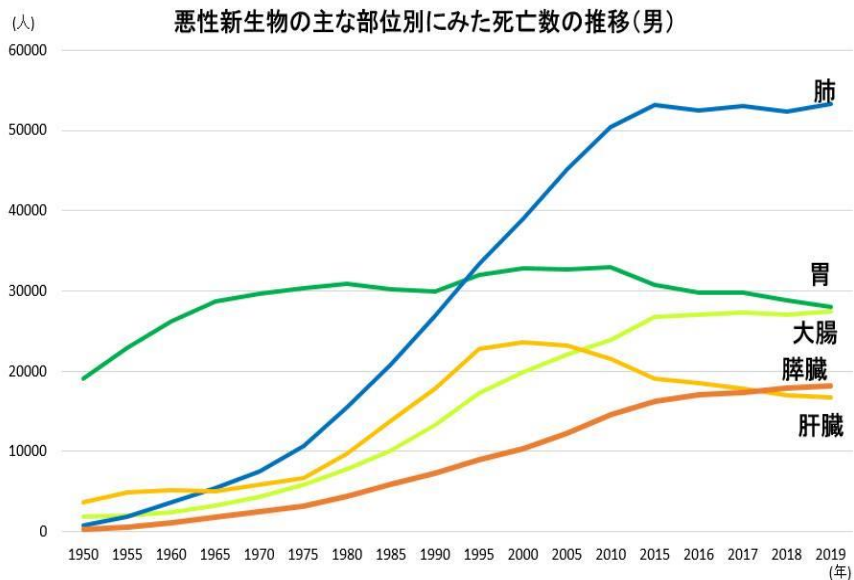
大腸がん検診は**便の潜血反応**で行われます。



出血している大腸癌

東北大学名誉教授  
杜の都産業保健会 理事長  
山田章吾

# 大腸がんによる死亡数



悪性新生物の主な部位別にみた死亡数の推移  
(2019年人口動態統計確定数 厚労省)

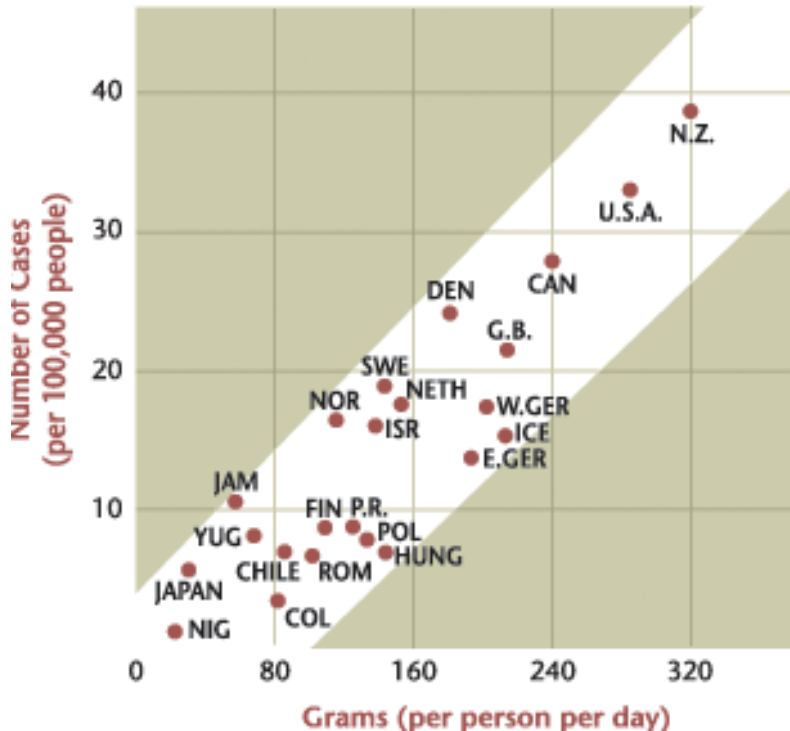
男性も女性も大腸がんによる死亡数は年々増加し、  
女性ではがん死亡のトップになっています。

# 大腸がん

- 大腸癌に罹るリスクは年齢とともに増加します。60歳代から70歳代の方が進行がんで発見されることが多く、早期発見のためには**40歳以降は定期的な検診が必要**であるとされています。
- 症状は下血、慢性便秘、イレウスなどです。
- 家系、潰瘍性大腸炎、子宮癌・乳がんの既往、肥満、飲酒、喫煙はリスク因子。

# 大腸がんのリスク因子

Correlation Between Meat Consumption and Colon Cancer Rates in Different Countries



- ①食事要因(脂肪や肉類の過剰摂取)
- ②生活習慣(喫煙や飲酒など)
- ③遺伝的な要因(家族性大腸腺腫症とリンチ症候群)など

各国民の肉の消費量と大腸癌の発生率には高い相関があるとのデータがあります。

横軸は1人1日あたりの肉の消費量、縦軸は10万人あたりの患者数。

# 大腸直腸癌の発生

- ほとんどの大腸がんは、腺腫性ポリープから発生します。

T. MUTOら、: *Cancer* 36: 2251-2270, 1975.

# 大腸ポリープの大きさと癌化率

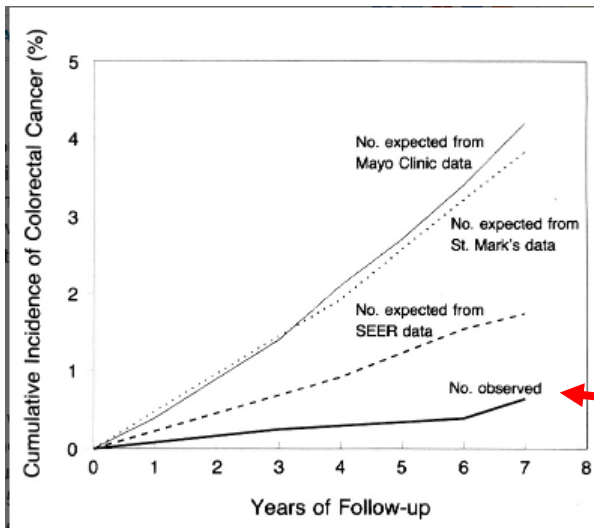
大腸ポリープ大きさ	担癌率	粘膜下層浸潤癌
5 mm 以下	0.23-0.46 %	0.03%
6-9 mm	3.1-3.3 %	
10 mm 以上	28.2-31.3 %	

**1cm以上の大腸ポリープの癌化率は高い！**

- 1) Sakamoto Tet al. Clinicopathological features of colorectal polyps: evaluation of the 'predict resect, and discard' strategies. Colorectal Dis 2013 ; 15 :e295 - e300.
- 2) 松田尚久ら. 佐野寧, 藤井隆広, 他. 微小腫瘍性病変の臨床病理学的特徴Japan Polyp Study 1次 TCS の結果から• INTESTINE 2014 ;18 : 207 - 214.

# 大腸内視鏡によるポリープ切除で 大腸癌予防ができる！

Sidney Jらの論文(N Engl J Med 1993; 329: 1977-1981)によると、**ポリープ切除により76~90%大腸直腸癌の発生を抑制**することができる。



ポリープ切除群

# 検診で1回だけS状結腸内視鏡 ポリープ切除した場合

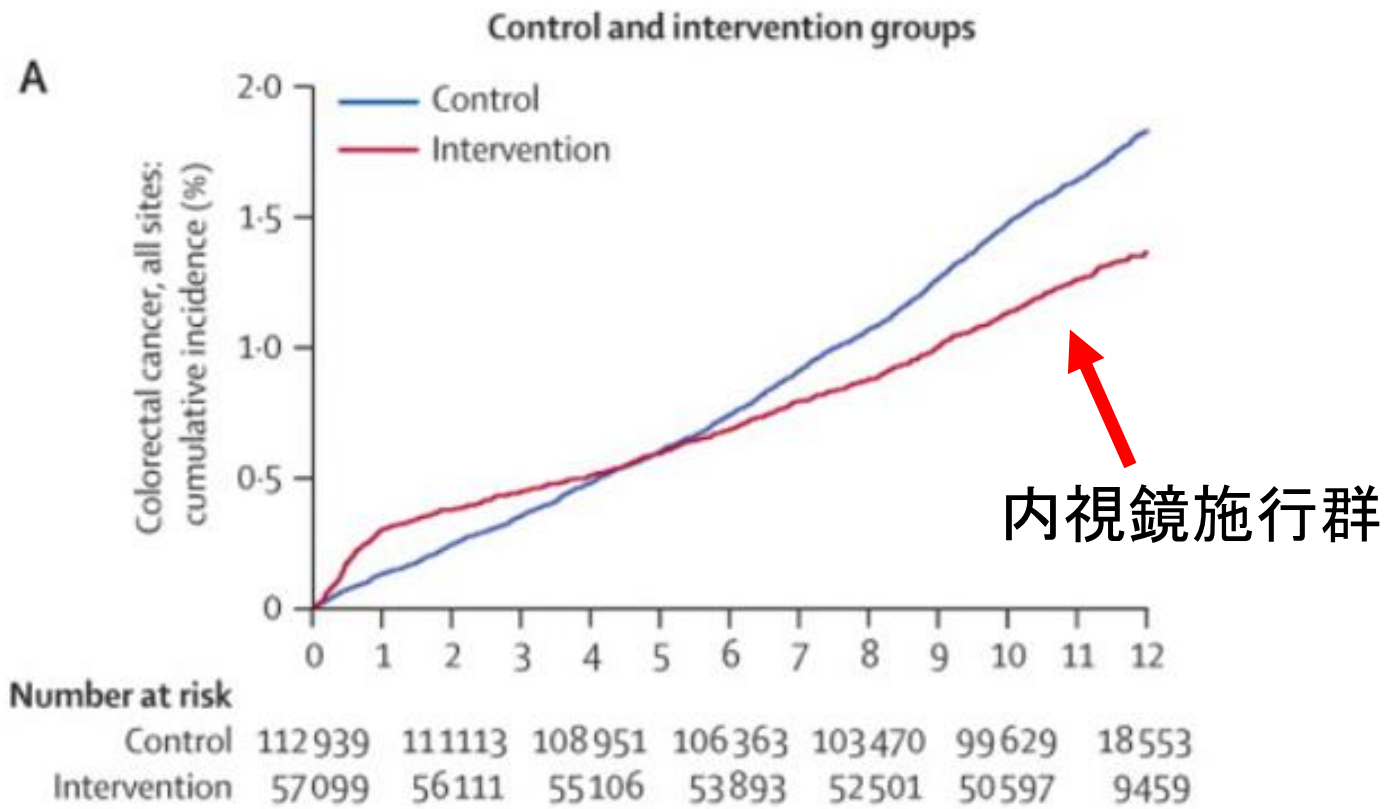
Atkin WS, ら. Lancet 375: 1624-1633,2010

対象: 英国170,432人、S状結腸内視鏡施行群と  
非施行群(コントロール)にランダムに分別。  
コントロール群11,939人、内視鏡群57,099人、うち  
内視鏡施行40,621人、非施行16,478人。



# 検診で1回だけS状結腸内視鏡 ポリープ切除した場合

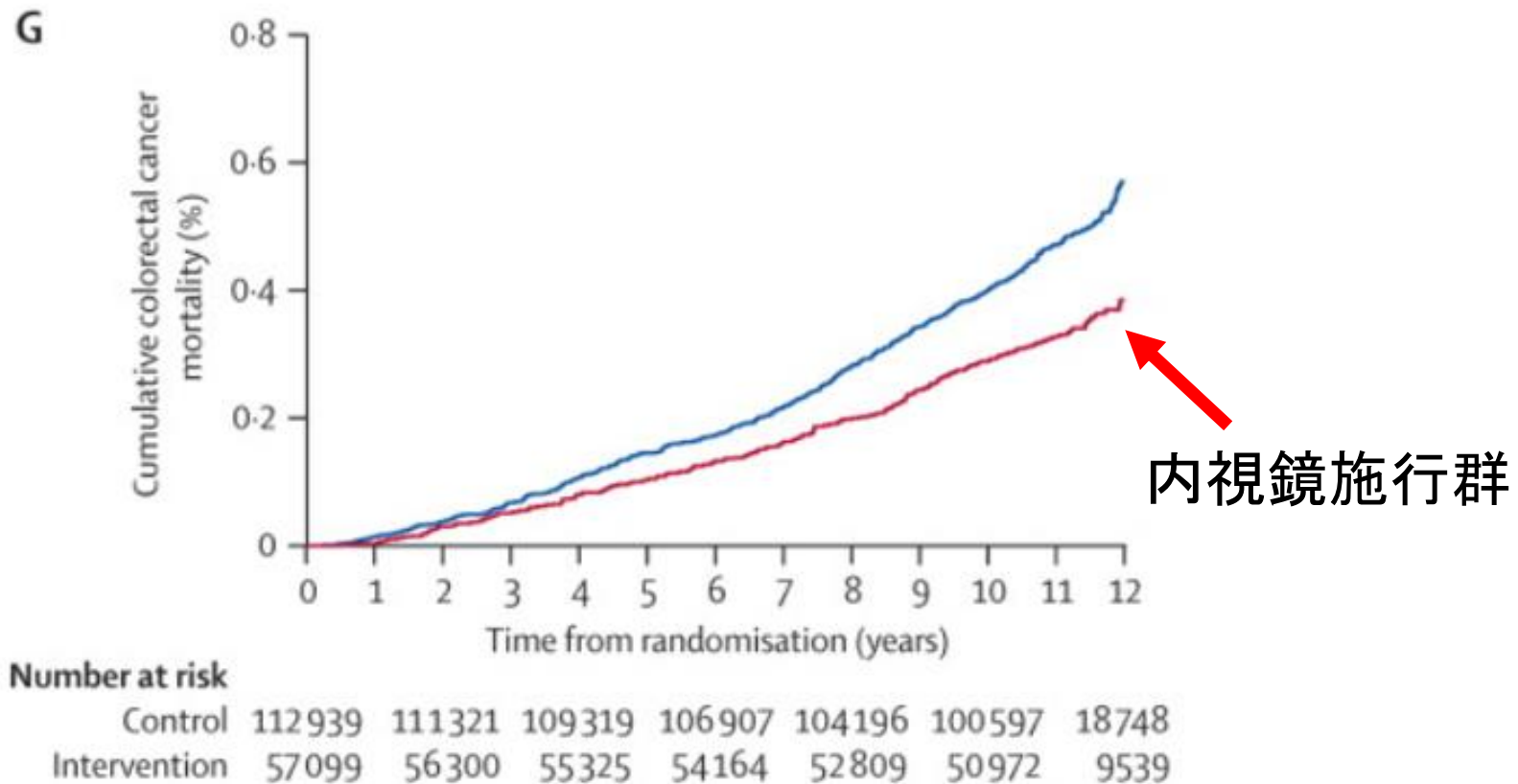
大腸直腸全体のがん発生頻度



Atkin WS, ら. Lancet 375: 1624-1633,2010

# 検診で1回だけS状結腸内視鏡 ポリープ切除した場合

大腸直腸がんによる死亡率



Atkin WS, ら. Lancet 375: 1624-1633,2010

# 以上の研究のまとめ

- 11.2年の経過観察で大腸直腸癌はコントロール群1,818人、内視鏡群727人。
- 内視鏡群は23%大腸直腸癌を減少させ、死亡率を31%減少させた。
- S状結腸と直腸に限ると、がん発生を50%減少させた。

# 大腸がん早期発見のための推奨検診 (米国)

## American Cancer Society Recommendations for Colorectal Cancer Early Detection

Last Medical Review: January 27, 2017 Last Revised: July 7, 2017

毎年、便潜血反応検査を行い、  
50歳からはさらに次の検査のうち  
いずれか一つを受けましょう！

# ポリープとがんを発見するために 推奨される検査

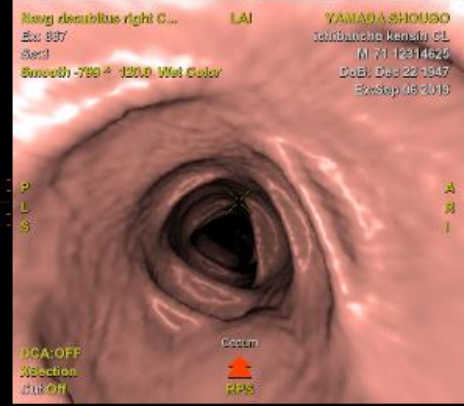
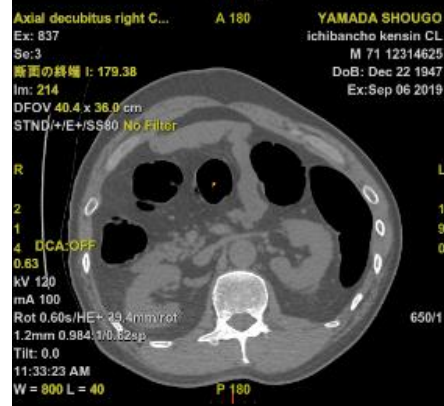
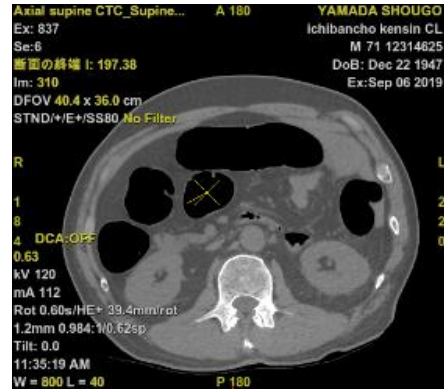
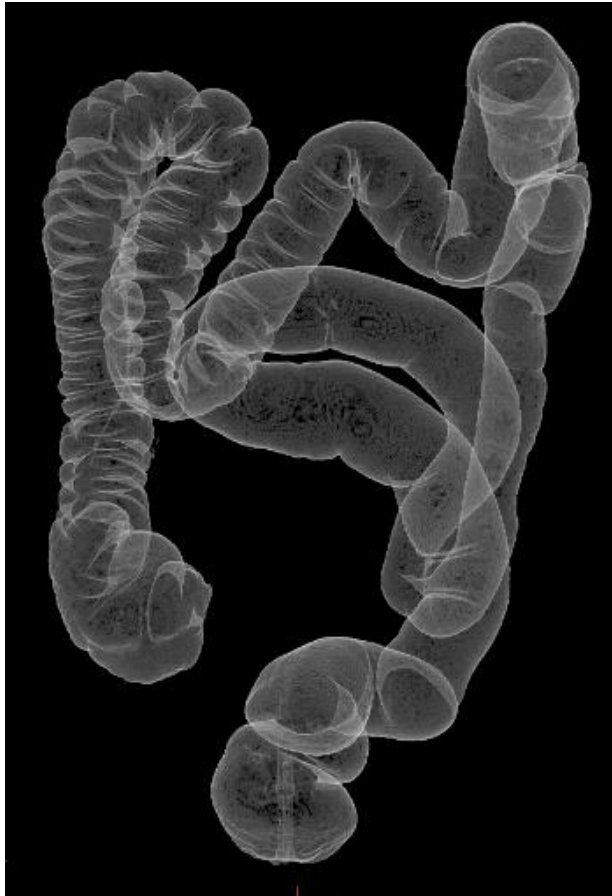
- 10年ごとの大腸内視鏡検査
- 5年ごとのCTコロノグラフィー検査
- 5年ごとのS字状結腸内視鏡検査
- 5年ごとのバリウム検査

# 当会におけるCTコログラフィー



杜の都産業保健会一番町健診クリニックの最新CT

# CTコロノグラフィ



腹部臓器の観察も出来ます。

# まとめ

- 便潜血反応だけの検診では不十分です!
- 50歳以降に1回は**大腸内視鏡検査**を行い、ポリペクトミーを受けましょう。
- その後は最低5年～10年に1回、**大腸内視鏡検査**あるいは**CTコロノグラフィー**を受けましょう。
- 当会では、大腸内視鏡検査もCTコロノグラフィーも受検が可能です！